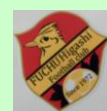


平成28年11月19日

風は東から



To be continued...
to be continued...

新人戦がいよいよスタート !!
昨年度の成績(準優勝)を超える !!

いよいよ明日(11/20)から新人戦がスタート !! VS 南平高校 11:30Ko

新「F-Higashi Style」の現地点の力を全てぶつける !!

いよいよ、待ちに待った新人戦(兼関東大会予選)が明日からスタートします。高体連の公式戦はこの大会から各校新チームでの闘いになりますが、東高は既に地区トップリーグで三試合(全て選手権都大会出場チーム)の公式戦を経験し、そこで三連勝を収め結果も出しているため、心身ともにいい状態で且つ自信を持って、明日の南平高校戦に臨めると思っています。もちろん、公式戦初戦なので、子どもたちには、多少の緊張感はあるはずですが…。

10月から新チームに切り替わり、今まで三年間積み上げてきた「F-Higashi Style」をベースに、少しずつではありますが、新たなスパイスをTRに加えながら、子どもたち個々が育ち、大きくなっていくチーム全体が進化できるように、スタッフ一同変わらずに指導しています。この間に行われてきたTRMでは、新たなチーム戦術やポジションなどにチャレンジしてきましたが、正直上手いいかないことも結構ありました。新人戦前のここ二試合は、少し壁に当たっている感じがしています。三年生と比較してもタレントが少ないことを自覚して、個々の能力を最大限に引き出すために、ユニットやグループでの戦術やお互いの呼吸を合わせる(タイミング)作業を、時間は掛かりますが新チームは一生懸命トライしています。壁を乗り越えるためにはコツコツと地道にやっていくしか方法はありません。

「小さな力を大きなパワーに変えていく!!」そんな工夫を考えながら日々TRを行っています。

選手権経験者を軸にチーム作りは進んでいく !!

東高は、**四大会連続**で都大会に出場したことで今大会も**シード校**となり、最近では他チームから追われる立場となりました。今まで以上に東高のサッカーが分析され、厳しくマークされることは必至です。しかし、このプレッシャーの中でも公式戦を勝ち上がることでチームの真価が問われます。幸いにも、新チームには、先の選手権のゲーム経験者が縦ラインに残っています。大舞台を知っているものがあることは、新チーム最初の公式戦を迎えるに当たり大変心強いものです。間違いなく、彼らはこの**チームの生命線であり大黒柱**となります。選手権経験者を軸にここから先のチーム作りは進んでいきます。ゲームでも日頃のトレーニングでも妥協を許さない姿勢で率先して取り組み、チームの中心となって東高サッカー部を牽引して欲しいと思います。

明日からスタートする新人戦では、今までと変わらずチャレンジャー精神を忘れずに、現時点での「F-Higashi Style」で内容にも拘りを持ち臨みます。結果が全てではありませんが、高い目標(昨年度を超える成績=**優勝**)を狙い一戦一戦大切に闘いそして勝ち進んでいきたいと思っています。引き続き、東高サッカーの応援宜しくお願いいたします!!

選手権決勝を東高サッカー部全員で生観戦 !! いつかはここで…

先週末、選手権都大会決勝が駒沢競技場で行われました。例年、東京都の準決勝・決勝は、高校サッカーの聖地と呼ばれる西が丘サッカー場でしたが、毎年スタジアムのキャパの問題で入場できない方が多く、今年から集客数の多い駒沢競技場で行われることになりました。ひとりでも多くの方に、子どもたちの高校三年間の総決算である決勝戦を見て頂きたいという運営側の趣旨です。

この日は、早朝にTRを学校で行い、東高サッカー部全員で駒沢へ移動して、決勝戦二試合を観戦しました。第一試合「**成立学園 VS 関東一**」、第二試合「**駒大高 VS 帝京**」とも東京の高校サッカー決勝戦としては申し分ないカードであり、子どもたちが学ぶには活きた教科書となります。

第一試合は、今年度「**インターハイ出場校**」の関東一と「**T 1 優勝**」の成立学園の対決となりました。今年の対戦成績はイーブンであり、東京都の中でもお互いテクニカルな選手を擁し、プロのコーチが指導するチームの対決ともあって、見所満載でした。ゲームは、成立学園がボールを支配し数多くチャンスを演出しますが、関東一の守備陣が堅く決定打が打てません。時折、関東一もボランチ⑩を中心にリアクションからチャンスを伺いますが、ノイアー張りの成立学園GKの活躍もありゴールを許しません。しかし、後半早々、関東一がコーナーキックの折り返しをオーバーヘッドで決め、これが決勝点となりました。勝負というのとは分かりません!!リーグ戦では中盤から圧倒的な強さを誇り、T 1 を優勝した成立学園を関東一が下し、悲願の選手権初出場を決めました。

第二試合は、「**昨年の選手権全国ベスト 8**」で今年の**関東大会優勝校**の駒大高と「**昨年の選手権準優勝校**である**国学院久我山、インターハイ出場校の東海大高輪台**」とここまで軒並み強豪校を倒してきた、名門復活を狙う帝京高校とのカードとなりました。昨年度の全国大会を経験しているメンバーが多く残る駒大高が、序盤から力強さで勝利圧力をかけ帝京陣内に攻め込みます。前半早々にPKを得た駒大高のキャプテンが冷静に決め先制!!主導権を握ったままゲームは進みます。駒大高の仕掛ける肉弾戦に帝京高校も臆することなく身体を張って挑み闘う姿は見事でした。骨が軋む音が聞こえそうなくらい激しいゲームとなりました。これぞ「**The 高校サッカー**」です。帝京高校はメンバーチェンジを上手く行い粘り強く闘ってきましたが、さすがに後半は疲弊してしまい、アディショナルタイムに駒大が追加点。二年連続で選手権の切符を手に入れました。

東京都代表となった、**関東一**と**駒大高**の二校の皆さん、全国大会でのご活躍を祈っています!!



三年間の集大成である選手権決勝
選手も応援団も一体となる瞬間

